令和8年9月8日

舟形町議会
議長　斎藤　好彦　殿

産業振興常任委員会
委員長　佐　藤　広　幸

所管事務調査報告書

産業振興常任委員会の所管事務調査について、下記の通り報告します。

記

１．期　　日　令和8年6月23日（火）及び令和8年8月6日（木）
２．調査内容　各課新規・主要事業及び現地視察

まちづくり課

(1)地域運営組織運営事業費補助金
　270万円　内舟形地区50万円（課題　少子高齢化、防災、雪）
(2)町内会アプリ導入事業
　名称：ロコハブ、事業者：株式会社ラビット、契約金額：13万8,600円(税込)

ふるさと応援推進室

(1)ふるさと納税
　令和7年度実績および令和８年度の状況や制度改正
　令和8年度の状況：4月1日～5月31日　8,864万8千円

農業振興課

(1)紅葉の森整備事業
　ヤマモミジの植栽及び管理　事業費：53万4千円

新規就農・女性活躍支援室

(1)第6次化売れる商品づくり支援事業費補助金
　ふるさと納税活用　予算額：213万1千円　現在、個人申請2件
(2)園芸拡大ジャンプアップ事業費補助金
　当初予算額：300万円　現在、4名申請　交付決定済み

地域整備課

(1)馬形地区農道及び本堀内地内災害復旧工事に係る迂回路
(2)農業用施設緊急自然災害防止対策事業
　事業費：西堀地区400万円、紫山地区400万円
(3)農村地域防災減災事業
　事業費：12億6,000万円　工期：Ｒ8～Ｒ17年

(4)準用河川夫婦川洪水対策事業

可搬式排水ポンプの整備　R8測量設計：500万円　R9工事実施：5,000万円

(5)東北農林専門職大学総合プロジェクト事業

用地取得・造成地：舟形町舟形字野々田279番1　他2筆　面積1,519㎡

(6)空き家の状況（一の関）

３．所　　感

まちづくり課

舟形地区地域運営組織の運営については、地域の諸課題対応には集落支援員週1日の勤務体制では解決が困難であり、勤務日数を増やすことを検討されたい。

また、町内会と地域運営組織の役割を分担して活動すべきではないか。

町内会アプリ導入事業については、今年度、舟形地区地域運営組織の10町内会で導入希望があり、回覧の迅速化などの機能実証をふまえ令和9年度全町内会に導入を検討されたい。

ふるさと応援推進室

ふるさと納税については、令和7年度約10億5千2百万円の実績を高く評価する。

農業振興課

紅葉の森整備については、植栽地を整地してから植栽すべきではないか。また、管理道路が無く植栽と同時に整備すべきと考える。

新規就農・女性活躍支援室

園芸拡大ジャンプアップ事業については、新規若者就農者、女性新規就農者の増加に努められたい。

地域整備課

本堀内地区の迂回路については、現在の本堀内側は農道に砕石敷などで整備されているが、急勾配で狭小であり現時点では迂回路としての車両通行は困難な道路と考えられる。

中袋地区災害復旧については、工事区域の水田は3年間作付けされておらず農地復旧工事についても令和9年度には水稲作付けができるように最大限配慮されたい。

東北農林専門職大学プロジェクト事業については、アパート入居対象者は専門職大学の卒業生、地域おこし協力隊などを想定し、令和9年度に8戸建築完成を見込んでいる。課題もあると考えられるが新規就農者が入居されることを期待する。

一の関地内の県道沿い空き家については、住宅、作業小屋ともに老朽化が著しく危険な状況にあるので早期に解体できるように努められたい。

なお、解体まで時間を要する場合には、近隣には幼児もいるため早急な安全対策を講じるべきである。

今後、町から転出される方について空き家バンクへの登録や解体補助金などの制度についてお知らせし、所有者の方に管理徹底をお願いすべきと考える。